

凡 例

一 福生市史通史は上下二巻から成り、上巻には原始・古代、中世、近世、民俗編を、下巻には近代、現代、教育・文化、自然環境を収めた。

一 本文は原則として常用漢字、現代仮名遣いを用い、平易な記述にとめたが、資料文や固有名詞・専門用語については旧字体をそのまま用いたところがある。特に難解な語句には振り仮名を付した。

一 本文中の引用資料は『』「」で資料名を示し、長文の引用は本文より二字下げとし、適宜読み下し文に改めた。

一 『福生市史資料編』からの引用については、単に『近代』『近代・新聞資料（昭和）』『現代』のごとく示した。

一 図版・表については、各編ごとに通し番号を付し、別に図表目次を付けた。

一 度量衡の単位に尺貫法を用いた場合、適宜（ ）にメートル法の換算数値を示した。

一 プライバシーおよび基本的人権に関する記述にあたっては、史実にもとづく立場を堅持しつつも慎重に配慮した。資料文などに使われている差別的用語については、そのまま掲載したものもあるが、われわれはこれを

容認するものではない。正しい歴史認識にもとづき差別を解消する方向で利用されることを望みたい。

一 人名については、非礼をかえりみず、すべて敬称を略させて頂いた。御諒承下さるようお願いしたい。

一 本巻の記述にあたっては多くの研究者の著述、研究論文、地方自治体の刊行物・報告書などを参考にしており、つとめて出典を明記するようにしたが、一般市民を対象とする自治体史の性格上省略した場合もある。